

令和二年一月 年頭の挨拶
オリンピックの年

鹿屋体育大学長
松下雅雄

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は鹿屋体育大学を応援、ご支援いただき誠にありがとうございました。

本年は子(ねずみ)年にあたり、再び新しい十二支のサイクルがスタートする年であります。子年はあたらしい運気のサイクルが始まる年、植物でいえば成長に向かって種子が膨らみ始める時期だそうです。また、ねずみは子どもをどんどん生んで増やすことから、子孫繁栄の象徴とも考えられます。

令和二年、二〇二〇年は東京で二回目のオリンピックが開催される日本にとって大きな節目の年です。そして、ここ鹿児島でも国民体育大会が十月に開催されます。そのようなことから、今年は鹿屋体育大学にとって、今後の繁栄に向けて、スポーツ、健康を専門とする大学として教育研究の成果を発揮するときであると考えます。

本学では、二〇一四年からオリンピック・パラリンピック教育の一環として、国際スポーツアカデミーをアジア諸国の将来のスポーツ推進者となる若者を主な対象者として毎年開催し、四十一ヶ国、百六十二名が修了し、母国で活躍しています。

また、二〇一五年から本学にオリ・パラ戦略推進室を設置し、オリ・パラ推進事業に取り組んできました。その結果、現時点でボランティアとして十一名の学生が参加することとなっています。

そして昨年、本学二〇一四年三月卒業の宮田悠佑君がカヌースプリント競技で日本

代表としてオリンピックに出場することが内定しました。さらにオリンピックを輩出すべく、卒業生・在学生が一丸となったオー鹿屋体育大で代表内定獲得に向けて、最後のチャレンジに取り組んでいると期待を大にしています。

東京2020オリンピックに向けて、二〇一五年に設置されましたスポーツパフォーマンス研究センターでは、陸上競技や野球を中心に、年間四十数名の日本のオリンピックやトップ選手の測定・分析、を実施しました。加えてタイ王国女子バレーボールチームや台湾、トリニダード・トバゴ陸上チームの測定・分析、また、実験プールでは中国や台湾水泳チームのトレーニングや測定などの支援事業に取り組んできました。今後はさらに、本センターやスポーツトレーニング教育研究センターにおいて、スポーツ競技力向上に向けた科学的なトレーニングへの情報を提供できるように取り組んでいきたいと考えます。

鹿屋の地で地域に密着したスポーツ文化の発展を願い鹿屋市と共に創設した Blue Winds (ブルー・ウインズ) は、市民運動会 “エンジヨイ・スポーツ” や九州大学リーグ戦として開催されるバレーボール、バスケットボール、サッカー、野球などの公式試合を応援する取り組みをカレッジスポーツデイとして盛り上げていきます。

日本におけるスポーツの発展のため、大学一丸となって教育・研究・社会連携に積極的に取り組んで参ります。本年もご指導、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。